

令和4年度第1回鎌倉市障害者福祉計画推進委員会 会議結果概要

日 時	令和4年8月5日(金)18時00分から 19時00分まで
開催場所	オンライン会議
出席者	<p>[推進委員会委員(名簿順)]</p> <p>○13名出席</p> <p>岸川委員(委員長)、今井委員、氏家委員、林委員、國分委員、笠間委員、八木委員、大川委員、太田委員、金子委員、橋本委員、府川委員、和田委員</p> <p>[鎌倉市障害者福祉計画推進会議 幹事委員]</p> <p>○3名出席</p> <p>[事務局]</p> <p>○5名出席</p> <p>以上、21名出席</p> <p>「鎌倉市障害者福祉計画推進委員会 委員名簿」を参照</p> <p>[傍聴者]</p> <p>なし</p>
配布資料	<p>【配布資料】</p> <ul style="list-style-type: none">・鎌倉市障害者福祉計画推進委員会委員名簿・令和4年度第1回鎌倉市障害者福祉計画推進会議 論点概要・令和3年度第2回鎌倉市障害者福祉計画推進委員会 会議結果概要・(資料1)令和3年度(2021年度)障害者福祉計画推進状況報告書(案)・(資料 2-1)アンケート調査概要・(資料 2-2)アンケート調査項目

会議概要	<p>○各推進委員会委員の自己紹介が行われた。</p> <p>○鎌倉市障害者福祉計画推進委員会の正副委員長の選出について 推進委員会条例施行規則第2条に則り、委員長に岸川委員、副委員長に太田委員が推薦によって選出された。</p> <p>○鎌倉市障害者福祉計画推進委員会の運営および傍聴について事務局から説明した。</p> <p>1 令和3年度(2021年度)障害者福祉計画推進状況報告書(案)について 事務局より、(資料1)に基づき説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(委員からの意見等) ・(委員) 後ほどメールでコメントする。 ・(委員長) 8月末までにメールで意見を送ってもらえれば、事務局と私の方で、必要であれば委員の皆さまとも共有してメール審議という形で検討する。 事務局から説明があった変更点の中で、卒業後の生徒さんの進路状況や相談支援体制というところが、以前の推進状況報告書に比べて一層分かりやすくなったと思う。どのように計画に基づいてサービス提供がされているのか、社会資源が開発されているのかが分かりやすく提示されていると良いと思う。 <p>2 障害者福祉計画策定に係るアンケート調査の実施について 事務局より、(資料2-1、2-2)に基づき説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(委員からの意見等) ・(委員) 家族構成や年齢を聞くのであれば、アンケート調査というより、実態調査にした方がよいと思う。サービスを提供する側の調査と合体したことによって、どうしていくかを考えないといけない。アンケート調査だと「グループホームが欲しい」というのはよく見受ける。実態調査をしたときにグループホームをこれから考えてくれる事業者は人手不足のために、そんなにはない。利用者さんのアンケートの意向だけでは物事は進まない。 今回の内容については全国一律の質問なので、よいと思う。 ・(委員長) 国で一律に行う実態調査なので、ニーズのアンケートというより実態把握のための調査になると思う。 大事になってくるのが、いわゆる需要と供給のバランスをこの実態調査の中からどう汲み取って、計画に反映させていくかだ。状況によっては予算の関係なども出てくると思う。ニーズとして、先ほど例に挙げたグループホームや、最近ではショートステイ、体験の場、地域生活支援拠点等の話になると参加の話など出てくると思う。地域生活支援拠点等の整備を含めた中で、個人用の調査項目、障害のある方へのもの、事業所として、サービス提供事業所の供給側としての状況の把握がとても大事になってくると思う。
------	---

<p>会議概要 (続き)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・(委員) <p>以前は庁内会議の議事録の概要がついていた。これがないと庁内で何を話しているかさっぱり分からない。今回はつけてもらえるか。</p> ・(事務局) <p>ご説明をしなかったが、委員名簿の次のページに先日行われた庁内会議の会議録の概要、主な意見を載せている。例えば庁内の会議ではこのアンケート調査に関して、強度行動障害の方に関する質問があるとよいという意見があった。鎌倉市でも取り組みに向けた動きを始めているケアラー問題に関する質問内容を入れてはどうかという意見が庁内からは出ている。</p> ・(委員) <p>これから計画をつくるにあたってのスケジュールは、庁内会議の後に推進委員会がある。計画をつくる時に庁内でどういう話があったのかという概要を全部付けていただけるのか。</p> ・(事務局) <p>確か一昨年前に委員からご意見をいただき、つけるようにしている。今後も引き続き庁内会議の内容を皆さまにもお伝えできるように資料を出していきたい。</p> ・(委員) <p>庁内会議の中で重度行動障害の人の事は入れておいた方がよいのではないのではないかとやっているが、具体的にはどのような聞き方をするのか。</p> ・(事務局) <p>質問を入れることになったら検討する。</p> ・(委員長) <p>例えば強度行動障害に関する項目というのは、やはり家族の困り感だと思う。客観的な指標としては、障害者支援区分の認定調査項目の中の4の部分が行動障害に関する項目だと思うので、その項目と共通したフォーマットだと、ある程度生活の困り感という事で、例えばこだわり行動とか破壊行動とか出てくるのではないかと思う。もし、本人の行動面に沿っているのであれば障害者支援区分の認定調査項目、家族の困り感で聞くとすれば、ご家族にどの部分でどのくらい困っているか、そういう聞き方になるのかなと思って伺っていた。</p> ・(委員) <p>委員長の言われるとおり、基本的には困り感をどうやって浮き彫りにするかということだと思う。</p> ・(委員長) <p>困っている事に対して、例えば事業所としてどういった形での対応が可能なのかということ。鎌倉だけではなく行動障害といった場合には、神奈川県発達障害支援センターかながわA(エース)といった相談支援機関が特に重要になってくると思う。推進状況報告書の66ページの相談支援体制のところも非常に重要な項目になってくると思うので、そこと連動した形で計画と推進状況報告のところが繋がるといいと思った。</p>
----------------------	---

<p>会議概要 (続き)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・(委員) 強度行動障害のアンケート項目は、個人用調査項目で考えているのか、事業所の方で考えているのか。もし設けられるのであれば、聞き方は変わると思うが、事業所の方にも是非項目を入れていただけたらと思う。 ・(委員) それは賛成だ。事業者の方にも入れておかないと意味がない。何故かと言うと重度高度障害に対して事業所で完璧に対応できるところはあまりない。 ・(委員長) 確かに行動障害の特定の人達を把握しているのは、事業所だと思うので、ご家族やご本人よりは事業所の方がいわゆる行動障害に関する項目については掌握されていて、そこでの困り感もあると思うので、調査には是非入れていただきたいと思う。もしお気づきのことなどがあれば、こちらについてもメールでお受けできるようにしたいと考えているが、事務局の皆さまはこちらで進めてもよいか。 ・(事務局) 後日でも思い浮かぶ事、ご意見があれば8月末までに、電話またはFAXなど手段は問わず障害福祉課までご一報いただければと思う。 ・(委員) 入所施設から出席されている方に伺いたい。施設の平均入所年齢はいくつか。 ・(委員) 平均年齢が53歳だ。 ・(委員) 以前は60歳ぐらいだった。 ・(委員) 正確には58.9歳、特に女性に限っては65歳だ。 ・(委員) 入所施設は鎌倉では清和園ひとつだが、入所している方がものすごく高齢化している。そういう人を地域に戻すのは不可能ではないか。 ・(委員) 平均年齢は58歳だが、30代の方もいるので、不可能ではないと思っている。 ・(委員) 不可能ではないと言っても入所施設は清和園ひとつしかない。何名ぐらいという数値をもとにして考えなければ仕方がないのではないかと思う。 ・(委員) 福祉計画の数値は鎌倉市内だけではなく、市外の入居施設に入居している方も含まれていると認識している。
----------------------	--

<p>会議概要 (続き)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・(事務局) <p>入所施設の認定というのは鎌倉市が支給決定をしている方の人数なので、清和園さんに入っている方もいるし、市外の施設に入所されている方も含めたものになる。</p> ・(委員長) <p>地域移行という事が国の方向性等でも出されているし、国としても神奈川県としても何人とか、この計画を立てるところで鎌倉市から何人といったところも数値として計画を立てる段階で明記すると思う。地域移行で一番大事な事はご本人の生活、どういった暮らしをしたいのかという意思決定支援なども活用、確認しながらできるだけご本人の意向と、供給側のマッチングだ。グループホームとか1人暮らしを支援するためのヘルパーの確保の課題も当然出てくる。出られる人に対して支える人、そのバランスをはかりながら、どう計画に落とし込んでいくことができるのかは、清和園からの情報提供などは必要になる。委員の方からもご質問、ご意見などを伺っていく。</p> <p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(事務局) <p>議題1で扱った令和3年度推進状況報告書については、今回協議を受け、ご意見をいただければと思う。修正すべきところは修正して、委員長と協議の上、内容を決定し発行したい。ホームページへの公開と委員の皆さまに確定した物を後日送付させていただく。8月31日まではこちらの冊子に関するご意見をお受けする。</p> ・(委員長) <p>委員長と事務局だけでは判断できなかった場合には皆さまにご相談する事もあるかと思うので、ご承知おきいただきたい。</p> ・(事務局) <p>次回第2回推進委員会は11月12日頃を予定している。後日開催日時を決定次第、皆さまにお知らせする。</p> ・(委員) <p>来年度は基本計画とサービス利用計画の2つを作らなければならない。事務局の方でスケジュールはよく考えてもらいたい。回数は増やさないとだめなのではないかと思う。年に4回ではとても議論できない。今までの計画を見てもらえば分かるように、前の時に結構な回数を重ねた。年に4回というのは、ほとんどやらないと同じ事だと思う。</p> ・(委員長) <p>基本計画とサービス計画両方つくるのは労力的にもものすごく大変な事だと思う。副委員長も協議会に入って下さっているので、協議会でも恐らく意見があがってくると思う。その意見も加味した上で計画等をどう作り込んでいくのかといったところになるかと思う。今回委員になられた皆さまもそれ相当の覚悟を決めていただいて、一緒に良い計画を作れたらいいと思う。事務局の方も大変な1年になるかも知れないが、できる限りの事は委員の皆さまと一緒にさせていただきたいと思う。私の方の議事、進行はこれで終わりにしたいと思う。</p> ・(事務局) <p>これで第1回推進委員会を終了する。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
----------------------	--